

# 市立伊勢総合病院

## ○ 業務の概要

市立伊勢総合病院は、二次救急医療を始めとする地域の中核病院として、市民の健康増進と生活の質の向上を目指し、地域医療の継続発展を図るとともに、公営企業としての効率性を高めるよう努めてきた。

本年度は、安全、安心で高度な医療を提供するために、移動型デジタル式汎用一体型X線透視診断装置、超音波画像診断装置などの整備を行った。また、平成25年3月に策定した「新市立伊勢総合病院建設基本計画」に基づき建設事業を進め、平成27年8月に新病院建設工事基本設計が完成し、平成28年度の建設工事着工を目指して、実施設計及び新病院建設地造成工事に着手した。

利用状況については、入院延患者数68,554人（1日平均187人）、外来延患者数127,568人（1日平均525人）、健診者数13,854人（1日平均48人）となり、前年度と比較すると、入院患者数で584人、外来患者数で4,708人、健診者数で346人それぞれ増加した。

財政収支の状況は、収益的収支において、消費税を除き収入額6,392,910,513円、支出額6,181,212,886円の執行となり、211,697,627円の純利益を生じ、2,108,231,074円の繰越欠損金を差し引き、当年度未処理欠損金は1,896,533,447円となった。

一方、資本的収支においては、収入額366,438,000円、支出額622,462,599円の執行となり、256,024,599円の収支不足となったが、損益勘定留保資金等で補填した。

今後、新病院建設に伴う企業債償還金、減価償却費の増加などにより、病院運営が厳しくなることが予測されるが、平成30年度の新病院開院を目指し、引き続き、医師確保に努めるとともに、医療体制の充実強化、質の高い医療の提供、地域医療の推進、健全な病院経営に取り組んでいく。

### 1 職員に関する事項

（各年度3月31日現在）

区分	医師	看護職	医療技術職	事務・その他	再任用	計
平成27年度	46人	194人	73人	43人	1人	357人
平成26年度	41	188	71	43	1	344

### 2 経理の状況

#### （1）平成27年度伊勢市病院事業損益計算書

（単位 円）

平成27年 4月 1日から 平成28年 3月31日まで			
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
病院事業費用	6,181,212,886	病院事業収益	6,392,910,513
医業費用	5,823,098,572	医業収益	4,949,135,424
給与費	3,578,409,936	入院収益	3,079,960,822
材料費	1,152,231,054	外来収益	1,724,509,478

経費	807,859,825	他会計負担金	49,870,000
減価償却費	249,409,973	その他医業収益	94,795,124
資産減耗費	5,534,768	健診収益	281,574,581
研究研修費	29,653,016	健診収益	281,574,581
健診費用	150,471,512	医業外収益	1,162,200,508
給与費	110,004,204	他会計補助金	489,765,840
材料費	5,754,075	他会計負担金	519,706,000
経費	26,160,813	県補助金	4,680,000
減価償却費	8,552,420	国庫補助金	4,730,773
医業外費用	207,642,802	負担金交付金	3,000,000
支払利息及び 企業債取扱諸費	12,692,170	長期前受金戻入	106,330,470
雑損失	173,235,303	その他医業外収益	33,987,425
負担金	12,585,809		
医業外雑費	9,129,520		
当期純利益	211,697,627		
合計	6,392,910,513	合計	6,392,910,513

(2) 平成27年度伊勢市病院事業貸借対照表

(単位 円)

平成28年 3月31日			
借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	3,716,742,404	固定負債	2,509,016,182
有形固定資産	3,499,464,886	企業債	739,782,380
土地	1,287,636,515	建設改良等企業債	739,782,380
建物	5,383,027,338	引当金	1,769,233,802
構築物	322,622,541	退職給付引当金	1,769,233,802
器械備品	3,611,959,770	流動負債	1,262,057,042
車両	5,217,388	一時借入金	350,000,000
建設仮勘定	262,782,272	企業債	174,178,718
減価償却累計額	△7,373,780,938	建設改良等企業債	174,178,718
無形固定資産	3,562,685	未払金	531,064,681
電話加入権	3,562,685	医業未払金	445,201,749
投資その他の資産	185,570,000	未払消費税	6,099,400
長期貸付金	185,570,000	その他未払金	79,763,532
基金	28,144,833	引当金	205,673,000
基金	28,144,833	賞与引当金	173,159,000
流動資産	1,182,986,482	法定福利費引当金	32,514,000
現金預金	113,802,822	その他流動負債	1,140,643
現金	585,000	預り金	140,643

預金	113,217,822	預り保証金	1,000,000
未収金	1,055,161,210	繰延収益	821,951,352
医業未収金	1,033,970,751	長期前受金	4,327,145,243
医業外未収金	13,324,459	収益化累計額	△3,505,193,891
その他未収金	9,666,000	資本金	589,918,431
貸倒引当金	△1,800,000	剰余金	△283,214,121
貯蔵品	14,022,450	資本剰余金	1,613,319,326
薬品	9,298,890	受贈財産評価額	145,324,995
診療材料	4,723,560	国庫補助金	46,876,000
		他会計補助金	571,419,568
		工事負担金	53,395,358
		寄附金	97,279,500
		補助金	2,008,000
		他会計負担金	697,015,905
		欠損金	1,896,533,447
		当年度未処理欠損金	1,896,533,447
合 計	4,899,728,886	合 計	4,899,728,886

### 3 病院利用状況

診療科目	入 院	外 来
内 科	25,324人	34,287人
循環器内科	2,442	—
外科・消化器外科	8,637	11,061
整形外科	22,053	20,674
形成外科	—	453
皮膚科	1,178	10,934
泌尿器科	1,935	10,571
産婦人科	649	4,030
小児科	—	97
耳鼻いんこう科	—	740
眼科	1,059	7,259
精神科	—	1,493
脳神経外科	—	272
歯科口腔外科	1,086	12,652
放射線科	—	3,584
麻酔科	—	1,068
神経内科	4,147	8,388
緩和ケア内科	44	—
リハビリテーション科	—	5
計	68,554	127,568

## 4 物品購入に関する事項（金額100万円以上）

（単位 円）

購入年月日	器 械 備 品 名	規 格	金 額
27. 5. 14	オージオメータ	モリタ製作所 オージオメータコンポーネントシステム (SAI-60)	1,317,600
27. 5. 22	全身麻酔システム	ドレーゲルメディカル 全身麻酔装置 (Fabius Plus)	3,167,640
27. 7. 15	セントラルモニタ	日本光電 セントラルモニタ (CNS-6201)	4,104,000
27. 8. 18	チューブ乾燥機	サクラ精機 チューブ乾燥機 (TUK-52) 二式	1,512,000
27. 12. 4	嚥下観察システム	HOYA 鼻咽頭ファイバースコープ (FNL-10RP3・10RBS)	2,354,400
27. 12. 25	バーチャルスライドシステム	ライカマイクロシステムズ バーチャルマイクロスコープシステム (Aperio AT-Turbo)	9,828,000
27. 12. 25	凍結切片作成装置	ライカマイクロシステムズ クリオスタット (CM1950)	4,428,000
28. 2. 22	全自動化学発光免疫測定装置	アボットジャパン ARCHITECTアナライザ (i1000SR)	1,998,000
28. 2. 29	半導体レーザーシステム	飛鳥メディカル 新世代半導体レーザーシステム (ADL-20)	4,860,000
28. 3. 14	ビデオ軟性尿管腎盂鏡	オリンパスメディカルシステムズ 腎盂尿管ビデオスコープ (URF-V2)	3,186,000
28. 3. 14	ビデオ軟性膀胱尿道鏡	オリンパスメディカルシステムズ 膀胱腎盂ビデオスコープ (CYF-VHA)	2,894,400
28. 3. 15	フィルムデジタイザシステム	アレイ フィルムデジタイザ (2905M)	4,500,000
28. 3. 15	起立練習傾斜ベッド	ミナト医科学 全身運動器械器具 チルトテーブル (K1430MN)	2,289,600
28. 3. 15	電動昇降リフト式体重計	エー・アンド・デイ スマートリフトスケール (AD6082)	1,188,000
28. 3. 17	検体前処理装置	サクラファインテックジャパン 密閉式自動固定包埋装置 (VIP6-AI-J0)	4,968,000
28. 3. 18	透析用患者監視装置	日機装 多用途透析用監視装置 (DCS-100NX) 二式	4,968,000
28. 3. 23	自動視野計	カールツァイスメディテック ハンフリー フィールドアナライザ (HFA3 840)	4,860,000
28. 3. 25	汎用超音波画像診断装置	日立アロカメディカル デジタル超音波診断装置 (Noblus)	10,584,000
28. 3. 30	移動型デジタル式汎用一 体型X線透視診断装置	シーメンスヘルスケア 手術室用Cアームイメージングシステム (ARCADIS Varic)	8,748,000

## ○ 医師・看護師確保対策事業

病院事業の安定ひいては地域医療の存続のために、医師・看護師不足を解消すべく、確保対策の1つとして医師・看護師奨学金制度を運用している。平成27年度は医師奨学生を5名、看護師奨学生を9名新たに選考し、貸与終了後の医師及び看護師の安定的な確保に努めた。

なお、平成27年度卒業の医師奨学生2名、看護師奨学生9名は当院に就職した。

平成27年度 医師・看護師奨学生貸与状況

### 1 医師奨学生

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
奨学生人数	3名	2名	3名	1名	2名	4名	15名

### 2 看護師奨学生

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	計
奨学生人数	12名	13名	4名	1名	30名

奨学金制度のみならず、医師を派遣していただいている三重大学をはじめとした、大学や医療機関へ積極的に働きかけを行った。また、市健康課と連携し、藤田保健衛生大学に寄附講座を設置して、常勤医師1名のリハビリテーション医を確保することができた。初期研修医の確保については、就職説明会への参加や病院見学者の受け入れに努め、4名（医師奨学生2名を含む）が当院に就職した。

また、三重県立看護大学特別選抜試験地域推薦入学制度の利用や潜在看護師（看護師・准看護師免許を持っているが、家事・育児等により医療現場から離れている方）の職場復帰につながるよう、実習を伴った研修会の開催により看護師確保にも努めた。

併せて、ホームページやフェイスブック等を活用した情報発信、病院紹介イベント等への参加等、医療スタッフの確保につながる広報活動を行った。

## ○ 新病院建設関係

新病院建設工事に係る基本設計が完成し、実施設計及び軟弱地盤対策のための造成工事に着手した。また、設計の進捗に合わせて医療機器設備レイアウトや物流管理等の計画策定の検討を実施した。

### 1 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
楠部町内	(注) 新市立伊勢総合病院建設工事設計業務委託	敷地面積 約36,800㎡ 建設工事設計 1 建築工事設計 一式 本院、院内保育所、駐車場、ヘリポート、外構、その他付帯施設 2 既設建物解体工事実施設計 一式 3 敷地造成工事実施設計 一式	円 204,120,000	26.11.28	28.8.31

楠部町内 地	平成27年度 新市立伊勢 総合病院開 院支援業務 委託	1 設計支援、運用フロー検討等運 営システムに関する支援 2 業務委託に関する計画策定支 援 3 物流管理システム導入計画及 び調達仕様書作成支援 4 医療機器リスト作成及び医療 機器設備レイアウト検討等に 関する支援 5 医療情報システムの仕様書及 びITベンダ選定等の検討に関 する支援	円 18,360,000	27. 4. 1	28. 3. 31
計	2件	—	222,480,000	—	—

(注) 平成27年度～平成28年度債務負担行為

## 2 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
楠部町 地内ほか	(注1) 仮設職員駐車場 整備工事	石材系園路工 5,672㎡ アスファルト系舗装工 95㎡ 区画線工 2,200m 照明設備工 3基 小型標識工 8基 工事用道路工 一式	円 23,828,040	27. 6. 30	27. 10. 30
楠部町 地内	(注2) 新市立伊勢総合 病院建設地造成 工事	路床安定処理工 4,240㎡ 固結工 830本 土木シート工 3,240㎡ 側溝工 342m 集水柵工 7か所	357,707,880	27. 12. 11	28. 9. 15
計	2件	—	381,535,920	—	—

(注1) 基盤整備課施行

(注2) 基盤整備課施行、平成28年度債務負担行為

## ○ 地域医療連携関係

さらなる地域との医療連携の強化を目指し、平成27年4月より地域医療連携課を新設し、紹介患者の受け入れや退院支援の充実に力を入れた。

7月からは地域医療連携課内に「患者相談窓口」を設置し、患者さんの不安の解消に積極的に取り組む患者支援体制を整えた。

また、定期的に地域の多職種との「地域福祉交流会」を開催し、保健所との連携も深めて医療機関のみならず、行政や保健・福祉・介護に関する機関との連携強化にも取り組んだ。

伊勢市地域包括ケアシステムの構築においては、伊勢市在宅支援ネットワーク協議会、地域包括ケア会議いせ、地域包括ケア検討会に参加した。

伊勢地区医師会・伊勢赤十字病院と協働して在宅引き受けリスト、地域医療連携パスの見直しをおこなうなど、継続性のある切れ目ない医療の提供に努めた。

平成27年度紹介患者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 675	人 641	人 722	人 688	人 746	人 635	人 727	人 659	人 756	人 608	人 745	人 757	人 8,359

平成27年度「患者相談窓口」対応件数

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 48	人 37	人 50	人 37	人 34	人 31	人 29	人 37	人 38	人 341

平成27年度地域福祉交流会開催状況

- 第1回 11月18日 介護施設相談員対象 参加人数49人（46施設）  
 第2回 3月4日 ケアマネジャー対象 参加人数31人（31事業所）

○ 健診・人間ドック関係

各種疾患や生活習慣病の早期発見・早期治療により、地域住民の健康増進の一助となるべく、各健保組合等から受託する人間ドックをはじめ、全国健康保険協会の生活習慣病予防健診や法定健診等を実施した。

また、心臓超音波検査や負荷心電図検査などの特殊な検査を行うことで、通常の健康診断や人間ドックでは見つけにくい心疾患の発見が可能な心臓ドックコースを、平成28年1月から新たに開始した。

その他、女性の方に、より快適な環境でリラックスして健診を受診していただけるよう、受診者やスタッフを女性に限定した、レディースデーを実施した。

区 分	開設日数	受診者数			
		人間ドック	健診等	その他	計
平成27年度	日 289	人 6,777	人 6,636	人 441	人 13,854
平成26年度	289	6,676	6,330	502	13,508

※人間ドック…胃検査を実施したコース、脳ドック

※健診等…胃検査を実施しないコース

※その他…インフルエンザワクチン、破傷風ワクチン、B型肝炎ワクチン等接種、B型肝炎検査、文書料

<レディースデー実施結果>

実施日 平成28年3月29日（火）

受診者数 32人

健診等で要精密検査や要経過観察の判定となった方には、当院二次検査（外来診療）の受診案内を行い、疾病の早期治療につながるよう努めた。

区 分	平成27年度	平成26年度
受診者数（延べ）	1,649人	1,513人